

2018年度（平成30年度）事業報告書
平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

1. 概況

平成30年度は、前年度からの重要事業を継続しつつ、当協会の目的とする水の衛生に係る公衆衛生の向上と環境の確保を目指して、以下の事業を実施しました。

(1) 教育・資格事業

●水利用設備環境衛生士の養成（新規受講）

- ・水利用設備環境衛生士資格講習会の東京での開催は、

4月19日（木）於：日建学院新宿校

11月13日（火）於：日建学院新宿校

- ・水利用設備環境衛生士資格講習会の東京以外での開催は、

4月17日（木）於：日建学院武蔵小杉校（神奈川）

5月11日（金）於：日建学院船橋校（千葉）

5月31日（木）於：日建学院梅田校（大阪）

5月31日（木）於：名古屋ウイंकあいち（愛知）

6月 7日（木）於：名古屋IMYホール（愛知）

6月 7日（木）於：日建学院横浜校（神奈川）

7月24日（火）於：日建学院福山校（広島）

9月28日（木）於：日建学院福山校（広島）

10月26日（金）於：日建学院船橋校（千葉）

12月18日（火）於：日建学院熊本校（熊本）

3月19日（火）於：日建学院神戸校（兵庫）

平成30年度の新規受講者数は224名。

●水利用設備環境衛生士の養成（更新受講）

平成30年度の対象者は270名、更新講習受講者は38名。

(2) 普及・啓発事業

●水利用設備機器の衛生管理に関する機関誌の発行

年4回（1月・4月・7月・10月）発行した。

発行部数は各回約1,300部（うち行政へは約630部）。

※メール版の送信は、72施設

●水利用設備の水質検査

水質検査の実施は323件

●部会・研究会の実施

①空調機器の環境衛生管理に関する部会

開催は、6月4日（月）、8月20日（月）、10月22日（月）、12月17日（月）於：協会事務所
以上を実施した。

●水利用設備機器の衛生に関する研究会、講演会の開催

・行政等への協力

①広島県三原市保健所（三原市生活環境部 生活環境課）からの依頼により、市内の公衆浴場営業許可施設及び旅館業営業許可施設の衛生管理者を対象とする「入浴施設のレジオネラ症防止対策」の講習を担当した。

開催は、6月29日（金）

②千葉県夷隅保健所（千葉県夷隅健康福祉センター 健康生活支援課）からの依頼により、管内の入浴施設、宿泊施設、社会福祉施設、ゴルフ場等の営業施設担当者を対象とする「平成30年度レジオネラ症防止対策等地区別衛生講習会」の講習を担当した。

開催は、10月25日（木）

③三重県津保健所（衛生指導課）からの依頼により、管内の入浴施設、宿泊施設、社会福祉施設、スポーツ施設等の担当者などを対象とする「レジオネラ症防止対策講習会」の講習を担当した。

開催は、10月31日（水）

④千葉縣市川健康福祉センター（市川保健所）からの依頼により、一般公衆浴場（銭湯）、温泉浴場（スーパー銭湯）、大型ホテル、高齢者施設、スポーツ施設等の入浴施設事業者を対象とする「平成30年度レジオネラ症防止対策等衛生講習会」の講師を担当した。

開催は、11月7日（水）

⑤香川県健康福祉部（高松市）からの依頼により、循環式浴槽を設置している県内公衆浴場及び旅館業の営業者、掛け流し式の温泉入浴施設の他、特定入浴施設である社会福祉施設の方を対象とする「平成30年度レジオネラ対策事業 入浴施設の衛生管理講習会」の講師を担当した。

開催は、1月30日（水）

⑥多摩立川保健所（東京都立川市）からの依頼により、循環式浴槽を有する社会福祉施設等（有料老人ホーム・特別養護老人ホーム・介護老人保健施設）の施設担当者等を対象とする「平成30年度レジオネラ対策講習会」の講師を担当した。

開催は、3月1日（金）

- ⑦多摩小平保健所（東京都小平市）からの依頼により、公衆浴場、旅館（循環式浴槽を持つ施設、プール経営者・管理者等）の関係者を対象とする「平成30年度レジオネラ症防止対策講習会」の講師を担当した。

開催は、3月7日（木）

（3）調査研究事業

●調査研究助成

4月～7月の間、ホームページに掲載するも、公募なく助成は実施しなかった。

（4）その他事業の報告

「水利用設備環境衛生士」の講義内容を法政大学で実施

法政大学生命科学部（小金井キャンパス）で、平成30年度の「環境安全化学」授業の15週のうち第11～15週の5週分を使って水環境における衛生管理について行われた。

受講者数は約60名。

（5）会員の状況

2019年（平成31年）3月31日現在の会員数は、正会員71、賛助会員37、賛助会員（登録施設）91。

以上